

## (1) アリーナ建設（150億円）による建設期間中の経済波及効果

**219億円**（建設による効果）

## (2) アリーナ運営による経済波及効果

**61億円**（建設による直接効果を除く）／年

※計算例（Bリーグ、宿泊費（県外客））  
 $16\text{千円} \times 12.8\text{万人} \times 0.2$ （県外割合）  
 $= 409\text{百万円} \rightarrow \underline{4.1\text{億円}}$

### 算定基礎となる消費額の内訳

利用区分		Bリーグ	コンサート	コンベンション	県民・市利用	合計
来場者/日 (年間累計)		4,000人 (12.8万人)	4,000人 (4.8万人)	4,000人 (14.4万人)	100~1,000人 (6.7万人)	年間来場者数 39万人
利用日数(本番)		32日	12日 (12公演)	36日	134日	
用途	単価/人	年間消費額				
入場料・グッズ	6千円	8.0億円	—	—	—	8.0億円
交通・飲食費等(県内客)	3千円	3.4億円	1.1億円	4.6億円	2.7億円	11.8億円
交通・飲食費等(県外客)	20千円	5.2億円	2.9億円	9.3億円	—	17.4億円
宿泊(県外客)	16千円	※4.1億円	1.5億円	4.7億円	—	10.3億円
スタッフ等	13千円	0.1億円	0.2億円	0.2億円	0.1億円	0.6億円
合計	—	20.8億円	5.7億円	18.8億円	2.8億円	48.1億円

単価は利用区分ごとに異なる場合があるため、主な単価を記載している

### 算定の考え方

- ・単価は、スポーツマーケティング基礎調査やふくい桜マラソンアンケート結果等を引用
- ・Bリーグ来場者は県内客80%、県外客20%と設定（ブローウィングズ実績による）
- ・コンサート、コンベンションの来場者は県内客70%、県外客30%と設定（令和6年福井県観光客入込数）
- ・県民・市利用：平日スポーツ等利用75日（100人/日）、イベント利用59日（1,000人/日）

# 県民利用枠の考え方

項目		考え方			事業計画案公表時点(令和7年8月19日)
		単価	数量	金額(税込)	
使用料	メインアリーナ	他アリーナを参考に区分(スポーツ・スポーツ以外、商業・非商業、平日・土日祝)および単価を設定	115日(県民利用枠)使用・管理	81百万円	
	サブアリーナ				
	諸室	会議室、更衣室、医務室等の使用料 面積×㎡単価(施設整備費や近隣施設等を考慮)	115日(県民利用枠)使用・管理	41百万円	
	備品	県民利用5種目(バスケ、バレー、バドミントン、フットサル、ハンドボール)(減価償却を基に設定)			
	倉庫	上記備品の倉庫占有割合から(㎡単価は諸室と同) 倉庫面積×占有割合×㎡単価	通年使用(備品保管)・管理		
	映像・音響	設備の減価償却を基に設定	イベント・行事(40日)での使用・管理		
	光熱費	他アリーナを参考に設定	照明:115日 冷暖房:45日(セーレンアリーナの実績から推計)	17百万円	
運営費	人件費	令和7年度標準人件費(指定管理施設の公募上限算定)から	4人(料金収納、県への納付、問い合わせ対応、警備等)	31百万円	
	システム運用保守 広告料	県民利用枠の予約管理システム デジタルサイネージ等の館内広告 観光・イベント情報掲載	予約管理システム 通年 館内広告 115日 観光・イベント情報 通年	10百万円	
合計					180百万円